

私たちのまち 名寄市のすがた



はじめに

平成7年(1995年)1月17日に発生した阪神・淡路大震災、そして、平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災は、災害の恐ろしさを痛感させるとともに、自助・共助の重要性(地域での助け合い)など多くの教訓を残しました。私たちのまわりでは、大雨・大雪・地震など、さまざまな災害が発生し、尊い人命や財産が失われています。

市では、これらの教訓をもとに、市民のみなさんが安心して生活できる災害に強いまちづくり・ひとづくりを目指していますが、いつ、どこで起きるか予想が困難な災害から生き残るためには、「**市民のみなさん、一人ひとりの備えと対応**」が最も重要となります。

この防災ガイドマップは、災害に備えておくことや、災害が起きたときの対処方法などをまとめたものです。

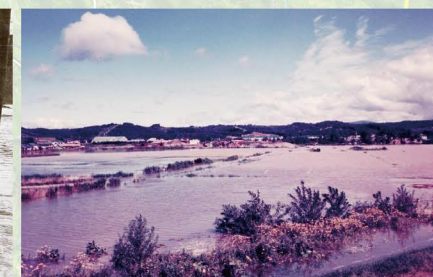
日ごろから手の届くところに置いていただき、災害に備える「**防災**」と、災害時の被害を少しでも減らす「**減災**」のために活用してください。

過去の災害

●昭和30年 中名寄地区



●昭和56年 内淵地区



●平成26年 西風連地区(初音橋)

